



スマトラ島リアウ州における違法伐採のモニタリング

2003年8月及び2004年4月に
テッソ・ニロ国立公園提案地で違法に伐採された木材が
APPのインダキアットパルプアンドペーパー工場へ供給

WWF インドネシア テッソ・ニロプログラム
森林犯罪調査ユニット

2004年6月16日

これは、WWF インドネシア、テッソ・ニロプログラムの森林犯罪調査ユニット(Forest Crime Unit)が2003年8月及び2004年4月に行なった、抜き打ち調査の結果を報告するものである。

森林犯罪調査ユニットは、2001年に活動を開始した¹。その活動内容は、企業による違法伐採への関与または非関与についての主張の検証、継続中の違法伐採行為のモニター、新しい違法伐採行為の発見や、テッソ・ニロ・ブキ・ティガプル景観内やテッソ・ニロ国立公園提案地の中で起こっている違法伐採の全般的傾向に関する情報提供などである。

この調査は、連続的に行なわれたものでも、対象地域の全体を均等にカバーするものでもない。従って、その調査結果は違法伐採問題の存在と継続を示すものであり、大きさを示すものではない。

1. モニター方法与調査場所

2003年8月13-20日と2004年4月15-17日の2回に、WWFの森林犯罪調査ユニットのスタッフは、テッソ・ニロ国立公園提案地の各地点(Figure 1)において、違法な伐採行為と違法に伐採された木材の運搬に関するデータを記録した。

収集したデータは、以下のものである：

- 伐採が行なわれたGPS(衛星利用測位システム)位置
- 伐採を行なうグループの名前
- 使用された機材の概要
- 運搬トラックのナンバープレート
- トラックのナンバープレート及び積載木材の写真
- トラックが違法材を積んで調査地から出発した時間
- トラックが停車、最終的に荷を降ろした時間と場所
- (可能な場合)トラックが使用した運搬許可書の複写か写真

¹ 森林犯罪調査ユニットの活動は、SFF/WWF アメリカによって支援されている

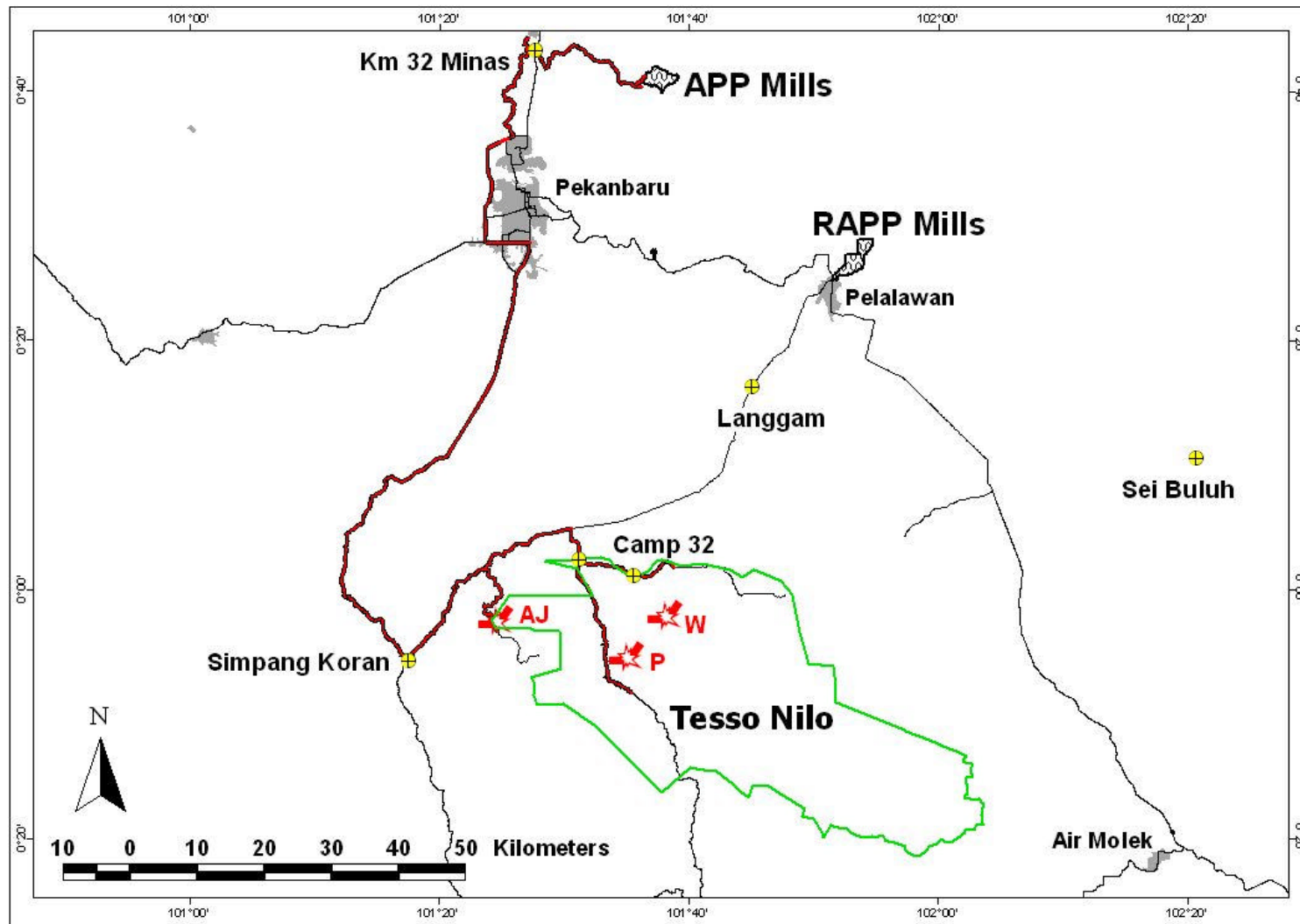


Figure 1. 調査地点：スマトラ島、リアウ州にあるテッソ・ニロ国立公園提案地（北緯約0°Nと東経101.5）（緑線）、APPとAPRILの紙パルプ工場、違法伐採グループ‘AJ’、‘W’及び‘P’の活動場所、APPまでトラックが通る道（赤と黒の太線）、その道沿いにある休憩地点、許可書に記述されていた虚偽の伐採地（十字入りの黄色い丸）。各地点はモニター結果の中で触れられている。

2. モニター結果

2003年8月、WWFの森林犯罪調査ユニットは、テッソ・ニロ国立公園提案地内部で、'AJ'、'P'及び'W'グループによる違法伐採行為を記録した（Figure 1と2）。

2004年4月、'AJ'と'P'グループは既に伐採を停止していた。2003年7月24日撮影のASTER衛星画像（Figure 2a）と2004年4月29日に撮影された'AJ'の活動場所の航空写真（Figure 2b）やビデオを比較すると、彼らの活動場所が既に大部分皆伐されてしまっていることが分かる。しかし、'W'グループは、2004年4月にまだ活動を続けていた。

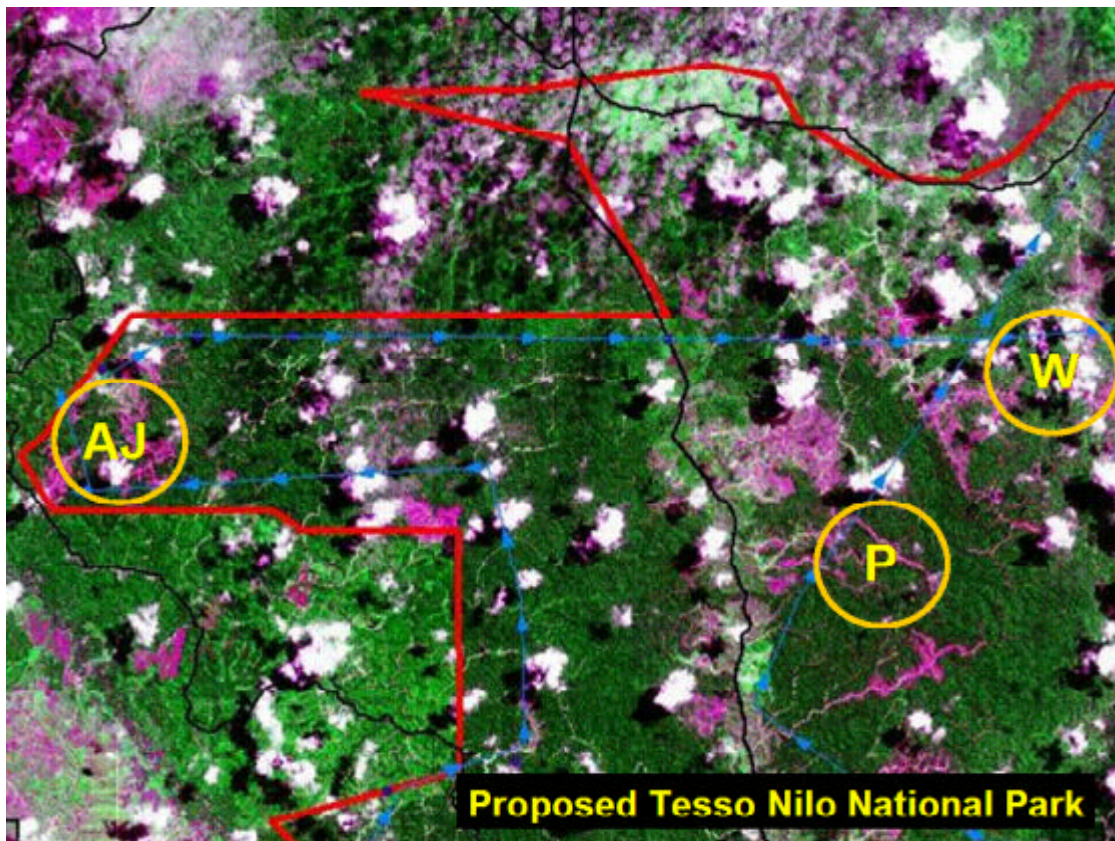


Figure 2a. 2003年7月24日に撮影されたテッソ・ニロ国立公園提案地の西部分のASTER衛星画像。黄色い円が違法伐採グループの活動場所（'AJ'、'P'と'W'）。この3グループがAPPに違法材を供給していた。自然林（深緑）、アカシア植林（明るい緑）、森林の皆伐跡（薄紫）。'P'グループはAPRILの伐採“通路”（Pの左側、中央に黒い線が走る明るい緑で南から北へ伸びる帯）を利用して違法伐採の場所へアクセスしていたようである。矢印付きの青線は、2004年4月29日に行なった航空調査のルートを示す。



Figure 2b. 2004年4月29日に航空撮影された、テッソ・ニロ国立公園提案地内における‘AJ’グループの違法伐採場所。

2.1. ‘AJ’グループ（2003年8月）

伐採時期: ‘AJ’グループは、2003年7月に伐採を開始（現地の伐採者と ASTER 衛星画像によって確認された）、2004年4月までに活動を終了。

場所: Figure 1 と 2 を参照。

使用機材: ‘AJ’グループは、堀削機 2 台、ブルドーザー 1 台、伐採トラック 8 台を使用。トラックのナンバープレートは、BM 9999 AS, BM 9061 AD, BM 9612 AV, BM 8933 AT, BM 9080 LA, BM 9310 AT, BM 9474 AV, BM 9495 AB。

活動:

2003年8月18日、16:25、 トラック 8 台が丸太を積んだあと、テッソ・ニロ国立公園提案地内の伐採場所を出発。

2003年8月18日、21:30、 トラック 8 台が Simalinyang 村のレストランで停車。

2003年8月18日、22:30、 8 台がレストランを出発。

2003年8月19日、01:15、 8 台が Minas Km 32 の森林資源チェックポスト（Figure 1）に到着、以下の詳細を報告：ライセンス所有者：KUD Agro Mandiri、木材積載場所：Langgam（Pelalawan 地区）（Figure 1）。

2003年8月19日、04:45、 8 台中 7 台（BM 9999 AS, BM 9061 AD, BM 8933 AT, BM 9080 LA, BM 9310 AT, BM 9474 AV, BM 9495 AB）が木材を積んで APP 工場に入る。

2003年8月19日、06:45、8台目のトラック（BM 9612 AV）が木材を積んで APP 工場に入る。

2.2. 'P'グループ（2003年8月）

伐採時期: 'P'グループは 2003年7月に伐採を開始（現地の伐採者と ASTER衛星画像によって確認された）、2004年4月までに活動を終了。

場所: Figure 1、2、3を参照

使用車両: 'P'グループは掘削機 2台、ブルドーザー 1台、トラック 4台を使用。トラックのナンバープレートは、BM 8763 AD, BK 8431 BD, BM 8879 AC。ナンバープレートの1つは確認できなかった。



Figure 3. グループ 'P'のテツ・ニロ国立公園提案地内の伐採場所 ($0^{\circ}6'8.3''$ N, $101^{\circ}33'24.2''$ E)
2003年8月14日撮影

活動:

2003年8月14日、17:00、トラック4台が丸太を積んだあと、テツ・ニロ国立公園提案地内の伐採場所を出発。

2003年8月14日、23:15、トラック4台が Simpang Koran (Figure 1)にあるレストランで停車。

2003年8月15日、05:00、4台がレストランを出発。

2003年8月15日、17:45、トラック BM 8879 AC と BM 8736 AD が木材を積んで APP 工場に入る（調査員は他の2台の到着を待たなかった）。



Figure 4. トラック BM 8879 AC と BM 8763 AD がテッソ・ニロ国立公園提案地内で伐採された木材を積んで APP 工場に入る。2003 年 8 月 15 日撮影。

2.3. 'W'グループ (2003年 8月と 2004年 4月)

伐採時期: 'W' グループは、2003 年 6 月に伐採を開始 (現地の伐採者と ASTER 衛星画像によって確認された)、2004 年 4 月にもまだ活動中。

場所: Figure 1、2、6 を参照。

使用機材:

2003 年 8 月、 'W'グループは掘削機 2 台、ブルドーザー 2 台、伐採トラック 5 台を使用。ナンバープレートは、BM 9732 RB, BM 8481 AT, BM 8629 AT, BM 9579 AS、B 9029 RB。

2004 年 4 月、 同グループは掘削機 2 台、ブルドーザー 1 台、伐採トラックは BM 9789 AB, BM 8885 AT, BM 9477 LA と BM 8206 AS の 4 台。



Figure 6. グループ 'W'のテッソ・ニロ国立公園提案地内の伐採場所 ($0^{\circ}4'59.5''$ S、 $101^{\circ}37'15.8''$ E)。2004 年 4 月 15 日撮影。



Figure 7. グループWのプロ的な活動に使用された掘削機。2003年6月1日撮影。

活動：

2003年8月

2003年8月16日、17:00、トラック5台が丸太を積んだあと、テツ・ニロ国立公園提案地内の伐採場所を出発。

2003年8月16日、18:30、トラック5台が Simpang Koran (Figure 1) にあるレストランで停車。



Figure 8. トラック BM 9732 AT が Siak Raya Timber Corporation のキャンプ 32 で休憩。2003年8月16日撮影。

トラック BM 9579 AS は、以下の運搬書類を使用：

- シリアルナンバー： **IKPP C. 284970***
- 許可所持者： **Koperasi Tuah Melayu.**

- 木材収穫ライセンス： 522.21/IPK/I/2003/001
- 発行機関： Pelalawan 地区

トラック BM 8629 AT は、以下の運搬書類を使用：

- シリアルナンバー： **IKPP C. 315867***
- 許可所持者： Koperasi Buah Melayu.
- 木材収穫ライセンス： 522.21/IPK/I/2003/001
- 発行機関： Pelalawan 地区

トラック B 9029 RBは、以下の運搬書類を使用：

- シリアルナンバー： **IKPP C. 3221075***
- 許可所持者： Koperasi Tani Saiyo
- 木材収穫ライセンス： Kpts 203/Hut/IPK/VII 2003
- 発行機関： Kuantan Singingi 地区
- 木材積載場所： Tesso川

運搬書類のシリアルナンバーにある IKPP という略語は、インダキアットパルプアンドペーパーを指す。つまり、これらの書類は、APP の IKPP 工場に木材を運搬するために発行されたということを表す。森林犯罪調査ユニットに対して、これらのトラックのドライバーも、彼らのトラックの最終目的地は APP の工場であると認めた。

2004年 4月

2004年 4月 16日、16:35、トラック 4台が丸太を積んだあと、テッソ・ニロ国立公園提案地内の伐採場所を出発（ナンバープレート：BM 9789 AB, BM 8885 AT, BM 9477 LA と BM 8206 AS）。

トラック BM 9789 AB、以下の運搬書類を使用：

- シリアルナンバー： **IKPP.C. 245060**
- 許可所持者： KOPKARRIMAI
- 木材収穫ライセンス： IPK No. 522.21/II/2002/007
- 発行機関： Pelalawan 地区
- 木材積載場所： Sei Buluh (Figure 1)



Figure 9. グループ‘W’のテッソ・ニロ国立公園提案地内の伐採場所から、トラック BM 9789 AB がパルプ材を積載。2004年4月16日撮影。

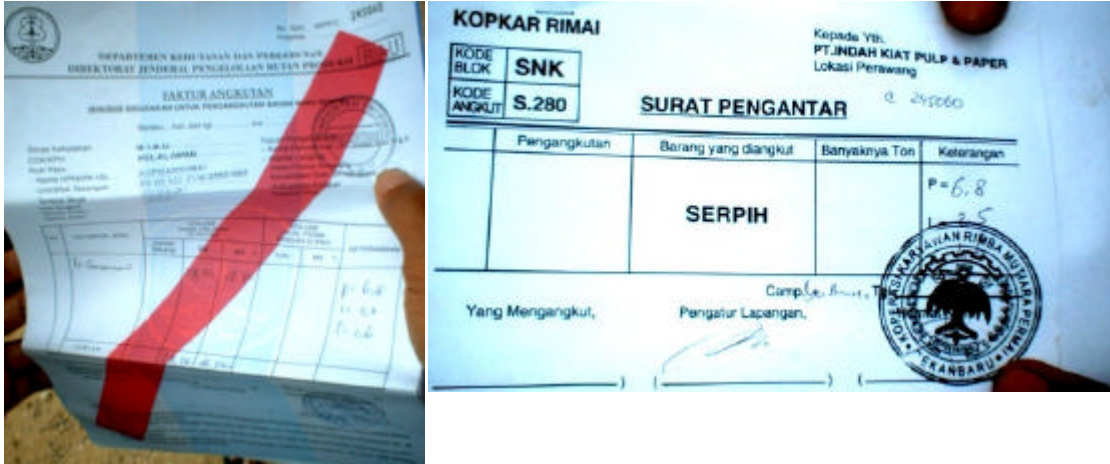


Figure 10. グループWのトラック BM 9789 AB が使った木材運搬許可書と配送指示書は、2004年4月16日に実際に木材が伐採されて積載されたテッソ・ニロ国立公園提案地内の場所とは全く違う場所を木材の積載場所と記載している。

2004年4月17日、18:05、トラック BM 8885 AT が Minas Km 32 の森林資源チェックポストに到着。トラック BM 8885 AT は、以下の内容の木材収穫許可を提出：

- シリアルナンバー： **IKPP. C. 245052**
- 許可所持者： KOPKARRIMAI
- 木材収穫ライセンス： IPK No. 522.21/II/2002/007
- 発行機関： Pelalawan 地区
- 木材積載場所： Sei Buluh (Figure 1)

木材収穫許可は、1年間のみ有効である。‘W’グループが使っていたこのシリアルナンバー-IPK522.21/II/2002/007 は2002年に発行されたものであるため2003年に失効しているにもかかわらず、‘W’グループの2004年4月の活動で使われていた。

2004年4月17日、21:38、トラック BM 8885 AT が木材を積んで APP 工場に入る（森林犯罪調査ユニットは他のトラックの到着を待たなかった）。

結論

- この報告書で取り上げた全ての木材は、テッソ・ニロ国立公園提案地内における、直径 30cm の小さな木まで切ってしまう無差別的な皆伐によるものである。この提案地は、現在、直径が 60cm 以上の木の伐採を行なう択伐ライセンスを所有する 3 企業のコンセッションとなっている。これより径の小さい木の伐採や皆伐を許可するライセンスは発行されていない。つまり、インドネシアで現行の法・規

則によれば、これらの伐採は違法である。

- この報告書で取り上げた全ての木材輸送の実例では、他の場所での木材収穫のために発行されたライセンスが使われていた。これらのライセンスは、実際に伐採が行なわれた場所では無効である。つまり、インドネシアで現行の法・規則によれば、これらの伐採は違法である。
- この報告書で取り上げた木材のうち、あるものは、既に失効してしまっているライセンスを使っていた。つまり、インドネシアで現行の法・規則によれば、これらの伐採は違法である。
- この報告書で取り上げた全ての木材は、APP のインダキアットパルプアンドペーパー（IKPP）工場に供給された。WWF の森林犯罪調査ユニットは、APP 工場への違法伐採材の供給を 2002 年以来、追跡し確認してきた。森林犯罪調査ユニットは、何度もこのような違反行為について APP に報告した。APP は繰り返し、公の場で、違法材は買わないこと、特にテツソ・ニロ国立公園提案地からは絶対に木材を買わないことを宣言している。2003 年 8 月には WWF と同意書も結び、2004 年 2 月には持続可能性アクションプランなるものも発表している。にもかかわらず、最近では 2004 年 4 月になっても、APP は明らかに違法で、しかも APP の最小限の努力をもってしても違法と判別可能であろうと思われる木材を購入しているのである。

WWF は以下のことを確信する：

- APP の宣言は紙上のコミットメントであって、事実ではないこと、
- APP の製品の全てが、何年も前から、違法に伐採された木材で汚染されていること、
- APP は、違法材を使わないで生産することができない、またはそうする意思がない、
- APP は、地球上で最も多様性が高いレベルの森林や、地元コミュニティの長期的な生活の犠牲のもとに紙パルプ生産を非持続的に生産し続け、世界市場に氾濫させ続けている、
- APP は、パルプ生産量を、現在のレベルから合法で持続可能な木材のみで供給できるレベルまで削減するべきで、それは APP にとって実現可能である。